

科目	地域・在宅看護の場と制度				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	①松原文子 ①高橋美由紀				
実務経験	①保健師(地域包括支援センター等) ①保健師(在宅介護支援センター等)				
ねらい	地域全体を支える看護やケアの仕組みを理解するとともに、地域で暮らす人々とその家族に看護を提供する際に必要な支援の基本とその根拠を修得する。				
目標	1. 地域・在宅看護の実践にあたり、知っておくべき法制度を広く学ぶ。 2. 制度や法律は、社会的背景の変化に伴い改正されていることを理解する。 3. 学んだ制度や法律の知識を、地域・在宅看護の実践に活かす方法を理解する。				
授業計画					
回	内容				
1	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 介護保険制度①				
2	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 介護保険制度② 地域包括支援センターの仕組みと役割				
3	地域包括支援センターの活動の実際 介護予防ケアマネジメントの実際				
4	地域保健にかかわる法制度 高齢者に関する法制度				
5	地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 医療保険制度 地域在宅看護にかかわる医療提供体制				
6	訪問看護の制度				
7	障害者・難病に関する法制度 公費負担医療に関する法制度 権利保障に関連する制度				
8	学習のまとめ				
評価方法	学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	地域・在宅看護論の基盤:医学書院 6章				